

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

本日、赤潮・貝毒プランクトン調査を行いましたので結果を送付いたします。
 検鏡の結果、赤潮原因プランクトンであるカレニア・ミキモイが最大1細胞/ml、麻痺性貝毒原因プランクトンであるアレキサンドリウム属が最大1細胞/ml確認されました。

今後、飼育魚や水色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

※(本日の調査はクロロフィル量が多い水深から採水した海水1mlの検鏡を実施しています。)

採集地点 採水時間	水深	水温	塩分	溶存酸素	採水水深	コクロディニウム ポリクリコイデス	アレキサンドリウム属	カレニア ミキモイ
	(m)	(℃)	(psu)	(mg/l)	(m)	(細胞/ml)		
藻津①(別図⑨) 採水時間 9:06 透明度 -	0.0	30.2	33.2	6.4	5	0	0	0
	5.0	30.1	33.2	6.4				
	10.0	29.8	33.4	6.2				
大島中央①(別図⑤) 採水時間 9:16 透明度 -	0.0	30.1	33.2	6.3	10	0	0	0
	5.0	29.8	33.4	6.2				
	10.0	29.2	33.4	5.6				
小筑紫中央①(別図⑬) 採水時間 9:30 透明度 -	0.0	30.5	28.0	6.5	10	0	1	0
	5.0	30.0	33.4	6.3				
	10.0	29.5	33.4	5.8				
栄喜奥(別図②) 採水時間 9:44 透明度 -	0.0	30.5	33.1	6.0	10	0	0	1
	5.0	30.1	33.3	6.2				
	10.0	29.8	33.4	5.9				
青瀬山(別図③) 採水時間 9:52 透明度 -	0.0	30.4	32.6	5.8	10	0	0	0
	5.0	30.3	33.3	6.2				
	10.0	30.0	33.3	6.2				
弘浦②(別図①) 採水時間 10:05 透明度 -	0.0	30.6	32.4	6.0	10	0	0	0
	5.0	30.1	33.3	6.0				
	10.0	29.7	33.3	5.9				